

陳情 第38号

受付 平成29年 5月17日

付託 平成29年 6月 8日

取手市議会会派代表者会議を公式会議とすることを求める陳情

・陳情趣旨

「開かれた議会」を掲げ、改革を進める貴議会の取り組みは全国的な評価を受けていると聞き及んでいます。その取り組みをさらに前に進めるため、会議規則の改正で公式会議となった全協同様関連条例、規則、規程等を改正し、会派代表者会議を公式会議とすることを求めるものです。改正後の全協では、執行部の冗漫な説明姿を消し、全協の開催回数も激減したといわれます。

全協の内容が記録として残され、大勢の市民の検証にさらされるため、責任ある意見・発言の必要に迫られた結果と思慮しております。

代表者会議では議会運営をはじめ広範かつ重要な事柄が話し合われており議会の透明化、開かれ化して記録の残る公式会議化は避けて通ることはできません。議会での事柄はすべて記録に残すことが「開かれた議会」には不可欠です。

・陳情事項

関連条例規則等を改正し、取手市議会会派代表者会議を公式会議とすることを求めます。

以上、陳情いたします。

平成29年5月17日

陳情者

住所 取手市戸頭2-50-7

氏名 坂入 基之

取手市議会議長 殿